



R6.7.1



普段は1人1枚の小さな紙に描いていた絵の具。今回は、ダイナミックに大きな段ボールに描いてみました。手や筆などの道具を使って、自由に思いのままに描いていく。

大きなキャンパスだからこそ、色の混ざり合いがより大きく見え、以前よりも色の混ざりに気付き「綺麗な色になった」「これ何色だろう？」といういろいろな声が聞かれました。

描く中で、筆をすべらせて描いた線や形が何かに見えて「これは〇〇だよ」とイメージをしたり「これを描きたい」と目的をもって描いたり・・・以前は全身を使ってぐるぐると描くだけだった姿が変化し、成長を感じる一場面でした。

手についちゃった！
「冷たい」「ぬるぬる」・・・どんなことを感じているのでしょうか？

以前は絵の具がなくなると「おかわり」と求めていましたが、量に気付くと「自分で」とスプーンを使って調整していました。



両方の手を使って筆を二刀流！
繰り返し絵の具を楽しんでいくうちに、「2本で描いてみよう、どうなるかな」と発展したようです。



絵の具の感触を手で触れながらダイナミックに描きます。色の混ざりをじっくりと味わっていますね。

